

## 取扱説明書 台付シングルレバー湯水混合水栓

品番 FL400(T7)、FL402(T7)

- このたびは、この水栓金具をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 特に「安全上のご注意」は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。(裏面施工説明書)

### 安全上のご注意

■表示内容を無視して過った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

**注意** この表示は、「傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

**禁止** このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

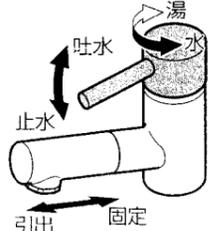
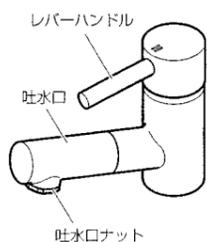
**必ず守る** このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### 注意

- 高温の湯をお使いのときには、吐水口、給湯配管部品に直接肌を触れない。やけどをするおそれがあります。
- 水抜きつまみは水抜き以外の目的で開けない。(寒冷地仕様)  
水抜きつまみをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財等を濡らすおそれがあります。
- 水栓に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えない。  
水栓が破損し、けがをしたり、漏水し家財等を濡らすおそれがあります。
- 混合栓の急閉止はしない。  
配管からの漏水で家財等を濡らすおそれがあります。
- 吐水口引出し口に直接湯水をかけない。  
キャビネット内部に水が漏れて家財等を濡らすおそれがあります。
- 長期間シャワーホース内に滞留した水を飲用しない。  
長期間滞留した水は、飲用に適さない場合がありますので、生活雑水に使用してください。
- 高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようにしばらく水を流す。  
次に使用するとき、水栓内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- お湯をお使いになるときは、操作レバーを水側で開けた後、湯温を確認しながらゆっくり湯側へ回し、好みの温度に調節する。  
湯側でいきなり吐水すると、やけどをするおそれがあります。
- 吐水流量を変える場合はその都度、吐水温度を確認する。  
流量調節による温度変化でやけどをするおそれがあります。
- 他所の水栓を同時使用する場合は、吐水温度の変化に注意する。  
水圧変動がおり、湯温が急上昇し、やけどをするおそれがあります。
- 凍結が予想される際は、配管内の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行う。(寒冷地仕様)  
寒冷地仕様以外の混合栓につきましても凍結のおそれのある場合は保温などの予防処置を行ってください。  
凍結破損で漏水し、家財等を濡らすおそれがあります。(凍結による破損は、保障期間内でも有料修理となります。)

### step 1 操作方法 上手に使って節水

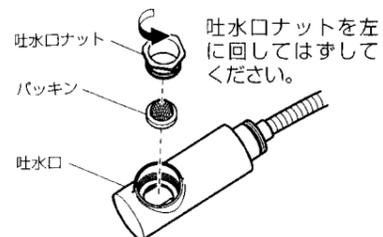
- レバーハンドルを右に回すと温度が低くなり左に回すにしたがって、しだいに温度が高くなります。
- レバーハンドルがどの位置にあってもレバーハンドルを上にはげると水(湯)が出ます。下に下げると止まります。
- 水(湯)の出る量は、レバーハンドルを上にはげるとたくさん出ます。
- 吐水口を引き出してご使用になれます。使用後は、水の出る方を下にして元の位置にお戻しください。



### step 2 シャワーヘッドの散水板、吐水口ナットの点検

吐水口ナットにゴミが詰まると、水の量や温度の調節がしにくく、水はねなどを起こしたりしますので、ときどき吐水口ナットをはずして網目に詰まったゴミを歯ブラシなどで取り除いてください。(このとき、パッキンを無くさないようにご注意ください。)

#### 1.吐水口ナットをはずす



#### 2.吐水口ナットを掃除する



#### 3.吐水口ナットを取り付ける

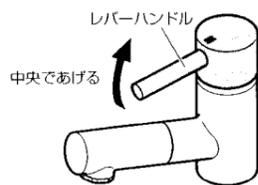


### step 3 水抜き方法 (寒冷地仕様の場合のみ)

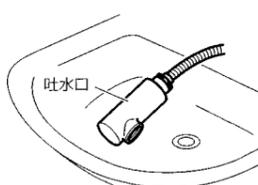
＜凍結時に予想される現象＞  
凍結した場合、操作レバー付近より水漏れが発生するおそれがあり、カートリッジの交換が必要となりますのでご注意ください。

**水抜き手順** 必ず配管内の水抜き作業を行うから実施ください。

#### 1.レバーハンドルを湯・水の中央位置で開く



#### 2.吐水口をボウル内に置く



#### 3.シャワーホースの根元の水抜きつまみをまわす



#### 4.水抜きつまみをまわす (止水栓側)



#### 5.元に戻す

吐水口ナットを元に戻し、操作レバー、水抜き栓を閉じてください。(操作後、水漏れしないことを確認してください。)

### step 4 お手入れ方法

クレンザーやみがき粉のような細かい粒子を含んだ洗剤や、タイル洗剤などの酸性洗剤は使わないでください。それらが付着したときは充分水洗いしてください。また、ナイロン・ステンレス・スチールタワシ等は、キズが付きますので、使わないでください。

### パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内

当社製品のお取り扱い方法、お買い物、その他ご不明な点についてのご相談は

### パナソニックお客様ご相談センター

●受付時間…365日/9:00~20:00

パナは 365日

FAX 0120-878-236

0120-878-365

●携帯電話・PHS等のご利用は… ☎06-6907-1187

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は **ハイ・パーツショップ**

0570-081-802

●携帯電話・PHS等のご利用は…

大阪 ☎06-6906-1224 東京 ☎03-5392-7189

●受付時間…月~金:9:00~19:00 土・日・祝:9:00~17:00

☎印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

●ホームページ <http://www.sumu2.com/shop/parts/>

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い  
パナソニック電工株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくための、ナンバーディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック電工株式会社 ドレッシング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2009

## 施工説明書 台付シングルレバー湯水混合水栓

品番 FL400(T7)、FL402(T7)

- 施工前に、この施工説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- 特に「安全上のご注意」は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この取扱・施工説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この取扱・施工説明書はお客様で保管頂くように依頼してください。
- 給排水管工事は専門業者でお願いいたします。

### 安全上のご注意

■表示内容を無視して過った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

**注意** この表示は、「傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

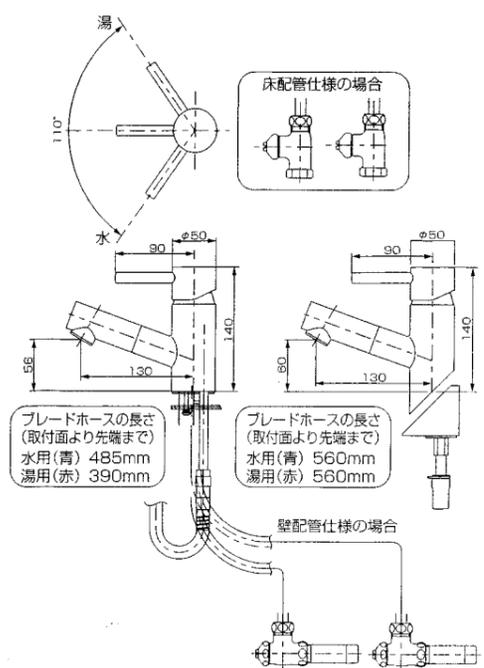
**禁止** このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

**必ず守る** このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### 注意

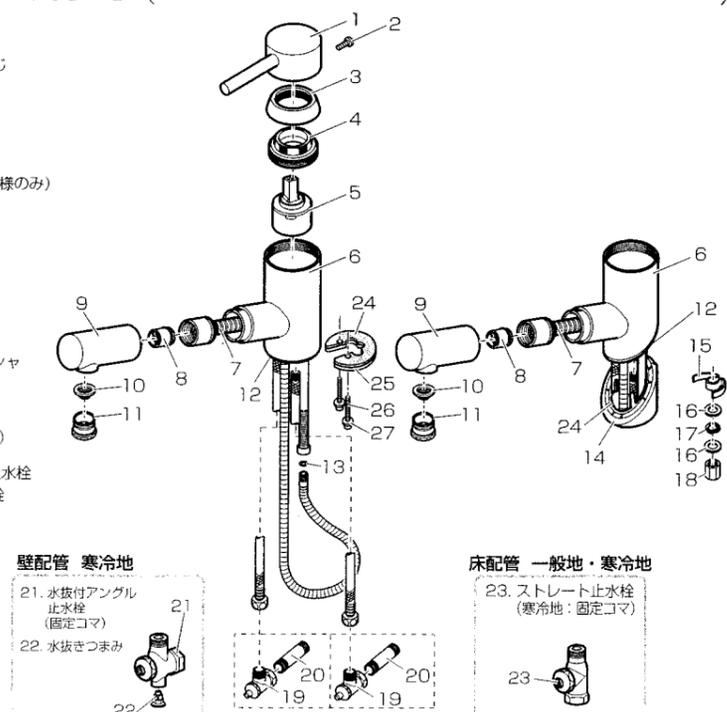
- 禁止**
  - 湯水を逆に配管しない。水を出そうとしても、湯が出てやけどをするおそれがあります。
  - 給湯に蒸気を使用しない。器具が破損して、やけどや漏水のおそれがあります。
- 必ず守る**
  - 冬期の間、施工完了後お客様にお引き渡しするまでの期間、水抜きなどの予防処置を行う。（寒冷地仕様以外の混合栓につきましても、凍結のおそれのある場合は、保温等の予防処置を行ってください。）凍結破損で漏水し、家財等を濡らすおそれがあります。
  - 施工完了後は、配置接続部及び水栓から水漏れのないことを確認する。漏水で家財等を濡らすおそれがあります。

## step 1 仕様



## step 2 構成図

（商品の種類によりましては、止水栓は別途手配となります。）

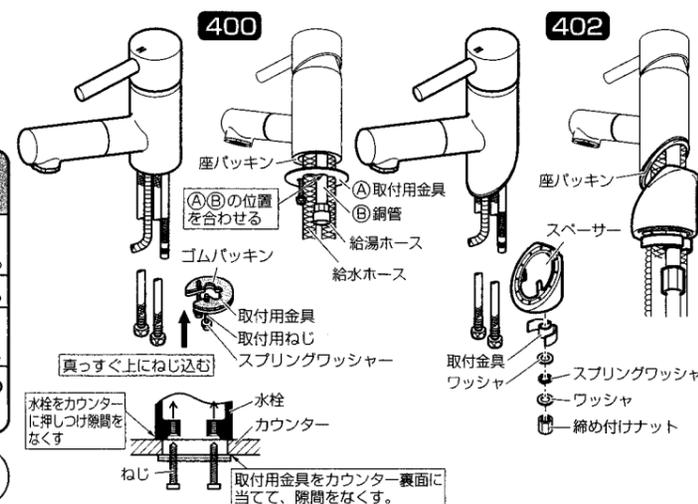


## STEP 3 施工方法

混合栓を一次側配管に接続する前に配管内のゴミ、砂など異物を完全に洗い流してください。

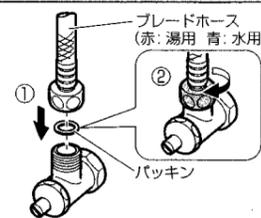
### 1.混合栓の取り付け（キャビネットを施工する前に取り付けを行ってください。）

- 混合水栓の下面に座パッキンが付いている事を確認し、洗面ボウルの穴に本体を差し込んでください。
- 取付金具、締め付けナットの順に本体ねじ部に取り付けてください。
- 混合水栓が正面を向くように合わせ混合水栓をカウンターに押しさえながら、締め付けナットを手締めし、工具にて締め込んでください。



### 2.給水・給湯ホースを接続する

止水栓に袋ナットを締め付けてください。

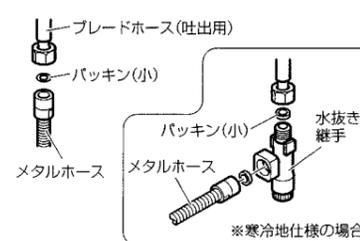


### 注意

- 禁止**
  - 給水ホースは右側に曲げて取り付けない。ブレードホースが破損して水が漏れるおそれがあります。
- 必ず守る**
  - 止水栓は真上に立ち上がるように取り付ける。ブレードホースが正しく接続できないおそれがあります。
  - ブレードホースがねじれないように袋ナットを締め付ける。ブレードホースが破損して水が漏れるおそれがあります。

### 3.吐水口側のホースを取り付ける

吐水口側のメタルホースを本体側のブレードホースにパッキンを入れ、接続してください。（このときブレードホース、メタルホースをねじらないように注意してください。）  
袋ナット締め付けトルク 9.8N・m(100kgf・cm)



## STEP 4 施工条件

### a. ガス瞬間給湯機と組み合わせる場合

給湯機号数	最低必要水圧 MPa
8号	給湯機の最低作動水圧+配管の圧力損失 +0.08
10号	給湯機の最低作動水圧+配管の圧力損失 +0.10
12号	給湯機の最低作動水圧+配管の圧力損失 +0.14

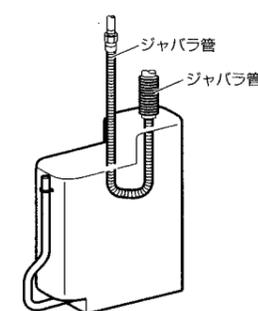
- 給水圧力は給湯機直前における静水圧です。
- 吐出ハンドルは全開です。
- 給湯機は次の設定です。  
温度調整バルブ 高温  
ガス調整バルブ 全開
- 給湯機との組み合わせ条件の最も悪い夏期条件によるものです。  
給水温度 25℃  
吐水温度 42℃

### 4.止水栓で適量の流量にする

レバーハンドルを中央全開にして適温の湯が出るように止水栓を調節してください。

### 5.ホースカバーへの収納

吐水口側のメタルホースをホースカバー内に納めてください。このとき、ジャバラ管の先端がホースカバー内に入っていることを確認ください。



### 6.収納性の確認

取り付け後にメタルホースの引き出し、収納を数回行い、配管がメタルホースと干渉して引っかからないことを確認ください。

### 7.確認

各部に水漏れがないか確認してください。

### b. 貯湯式給湯機と組み合わせる場合

給水圧力が高く、給湯圧力0.083MPaとの差が0.25MPa以上ある場合は湯温調整がむずかしくなりますので、減圧弁を使用し、給水圧力と給湯圧力が同程度になるように接続してください。

- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 湯水を逆配管しないでください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管後は必ず保温材を巻いてください。